

近畿大学 地域連携広報誌

KINDAI CARELINK ケアリンク



INDEX

- 1 ごあいさつ
- 2 診療科からの活動報告
 - 下部消化管
・内視鏡外科
 - 脳神経外科
 - 放射線治療科
- 3 連携医登録について
- 4 紹介予約手続方法



医学部・附属病院

地域連携広報誌

KINDAI CARELINK

近大ケアリンク

ごあいさつ

拝啓 早春の候、皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より近畿大学医学部附属病院を中心とする地域医療連携に多大なるご協力を頂き、心よりお礼を申し上げます。

年初に「KINDAI CARELINK」の創刊号をお届け致しましたが、この度、Vol.2を発刊する運びとなりました。この冊子は附属病院各診療科の活動内容を地域の医療関係者の皆様にご紹介し、地域連携活動のさらなる発展の一助とすることを目的としております。

今回は、下部消化管・内視鏡外科の「腹腔鏡手術」、脳神経外科の「脳卒中センター（脳卒中コール）」、放射線治療科の「最新の放射線治療」を取り上げました。いずれも、地域の高度急性期病院として安全を優先させつつも、最新・最良の治療を患者様にご提供する内容となっております。ご一読の上、症例のご紹介を頂ければ幸いです。

寒風の中にも春らしい明るい日差しを感じる今日この頃でございます。皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈りいたしております。

敬具

平成30年3月吉日

近畿大学医学部附属病院

病院長 東田有智

副病院長（地域連携外来担当）赤木将男



下部消化管・内視鏡外科

腹腔鏡手術について

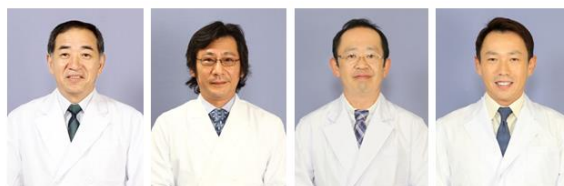
当院では1995年から腹腔鏡下大腸癌手術を開始し、現在まで1,000例近くの大腸癌手術を施行しております。

現在、全大腸癌症例に対する腹腔鏡手術の割合は80%に達し、なかでも直腸癌に対する括約筋温存率は82% (2016年)となっております。つまり、他の施設では肛門を残せず永久人工肛門となる、いわゆる腹会陰式直腸切断術(マイルス手術)になると言われた症例でも、当院では肛門を残す手術が可能になる可能性があるということです。また進行症例では、放射線科、腫瘍内科とcancer boardにかけ、術前に化学放射線療法や化学療法を施行し腫瘍を縮小させてから手術を行うことも可能です。前述の腹腔鏡手術の割合は80%に達しておりますので、直腸癌に対する手術もほとんどの症例が腹腔鏡下で施行しており、さらに本年より、低位直腸癌に対し腹腔鏡下と経肛門内視鏡下の双方から直腸の切除を行う新たな術式も施行しております。この術式は、従来の経肛門腹式括約筋温存直腸切除術より、精緻な手術が可能であり、直腸癌に対する根治性がより高くなると確信しております。

当院ではda Vinci systemによるロボット手術を導入しており、現時点で大腸癌に対するロボット手術は保険収載されておきませんが、希望される患者様には詳細を説明し、手術提供をさせていただきます。

現在、日本内視鏡外科学会では腹腔鏡手術を行うにあたり、技術認定医制度を設けております。当科では6名の技術認定医を有し、またロボット手術コンソールサージャンの認定を受けた医師を3名有しており、患者様に安全に医療の提供をできるよう心がけております。

ご紹介いただきました患者様の詳細に関しましては、入院時、手術詳細、術後経過、病理結果を含めお送りさせていただきます。場合により紹介元に逆紹介させていただき、経過観察をお願いさせていただいております。もちろん経過観察中に何か異変があった場合や、定期的な全身検索は当院で行いますのでどうかご安心ください。



奥野 清隆 肥田 仁一 所 忠男 上田 和毅

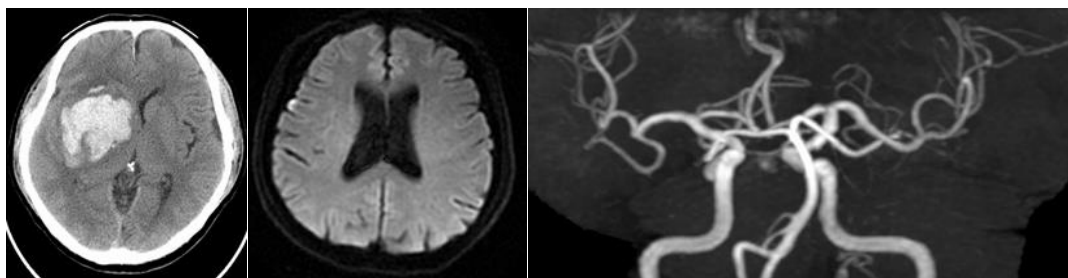


川村 純一郎 大東 弘治 吉岡 康多 牛嶋 北斗

脳卒中センター(脳卒中コール)のご紹介

脳卒中センターでは24時間365日いつでもどの地区からでも急性期脳卒中の患者さまを受け入れております。そして、近大最新の医療設備と最新知識と鍛錬された技量を有した大学教員でもある専門医と救急看護師が治療に当たっております。医療機関および救急車からは脳卒中コールというダイレクトインにより脳神経外科もしくは脳卒中専門医と直接お話していただき、お名前、年齢、性別、いつからどのような症状が出ているか、またその症状が進行悪化、不変、改善しているかを確認します。このとき意識レベル、瞳孔、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をお聞きします。私たちは救急災害センターのERで救急車を受け、初期対応を行います。専門医、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務員がチームワークを組んで、一刻も早く治療を行い、麻痺や失語症を解除するようにしております。脳卒中は時間との闘いです。脳梗塞は一刻も早く閉塞脳血管の再灌流を行うべく、tPAアルテプラゼによる血栓溶解療法を、搬入後30分以内に行えるように医師の問診診察、新規導入の超高速血液検査とCT/MRIシステムを組んでおり、安定稼働しております。また重症症例では血管内治療専門医によるカテーテル血栓除去術を行い、実に再灌流率88%をたたき出しております。また脳卒中ケアユニット(SCU)12床を有する専門病棟では、専門ナースと理学療法士が脳卒中に特有の症状を理解して、脳卒中治療ガイドライン2015に遵守したケアを提供しており、機能回復の目覚ましい改善を得ております。また高血圧性脳出血やくも膜下出血に対して全身状態を安定させ、脳神経外科医による患者さんの病態にあった直達手術、すなわち開頭血腫除去術、特に非侵襲的内視鏡的除去術、脳動脈瘤クリッピング術や血管内治療としてのコイル塞栓術を選択して、最善の救命措置を提供しております。

(次ページへ続く)



脳卒中は画像診断を迅速に行う必要があります。 左からCT、MRI、MRA

脳神経外科

脳卒中コールは ☎ 072-366-0920 (1年366日お一急になる)。回復期リハビリテーションは南河内圏域脳卒中パスで切れ目なく連携しています。

また、診療所の先生方には「歩いてやってくる脳卒中、てんかん発作、意識消失発作の患者さん」を即日診察、検査、診断をパッケージで調べるTIAクリニックが好評でございます。脳卒中コールするには軽症すぎる場合遠慮なく命じてください。今わずかな神経症状、意識があるが足を引きずって歩いている、ろれつが回らない、しかし今朝もしくは昨日より急に出現している患者さんであっても医学的には緊急で搬送させる必要があるからです。一過性脳虚血発作、てんかん発作はその後48時間以内に重篤な再発作を起こし後遺症を残す可能性があり、「前触れ発作」の時点で治療をする利点があります。平日午後12時から16時まで病院代表 ☎ 072-366-0221 交換経由で救急災害センター事務TIAクリニックへおつなぎください。電話でお名前、年齢、性別、生年月日、いつからどのような症状があるか申し付け、紹介状不要で受診させていただきます。入院治療が必要な場合即応、また再発予防の治療の継続のため逆紹介させていただきます。

さあ、寝たきりや麻痺の後遺症で苦しむ患者さんを1人でも少なくするため、私たちと是非連携しましょう (Unite for Stroke!)。

脳卒中の症状をご確認ください (下図)



「い〜」とすると
口や顔の片方がゆがむ



手のひらを上に両手をあげ
片方の腕が下がる、
足も下がる



舌がもつれる
しゃべれない



突然のカツン頭痛



片目が見えなくなる



急にふらふら
歩けない



けいれん



めまい



二重に見える

イラスト：近畿大学医学部美術部

放射線治療科

最新の放射線治療について

年間がん罹患数は100万人におよび、その克服は国民的課題の一つとなっています。放射線治療は、手術および抗がん剤とならぶがん治療の3本柱の一つで、放射線治療には機能と形態の温存が可能であるという大きな特徴があります。がん患者の半数が治癒できるようになった現在、寿命を長らえるだけでなく社会復帰の可能なQOL(quality of life) の高い治療法への社会的要請が強まっています。

放射線治療は、高エネルギーX線や電子線を発生する直線加速器(リニアック)、あるいは放射性同位元素を体内に挿入する小線源治療装置で治療します。当科では6名の放射線治療専門医が外来を担当し、最新の高精度リニアックを用いた強度変調放射線治療(IMRT)、体幹部定位放射線治療(SBRT)、画像誘導放射線治療(IGRT)、またヨウ素125線源の永久挿入による前立腺がん小線源治療、子宮頸部がん腔内照射などすべての高精度放射線治療が可能です。放射線治療はまさに時代の要求するがん治療法で、多くのがんに対して適応があります。セカンドオピニオンも含めて受診させていただければ幸いです。



放射線治療装置—直線加速器（リニアック）

連携医登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病院連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

ICTを利用した地域医療連携ネットワークシステムについて

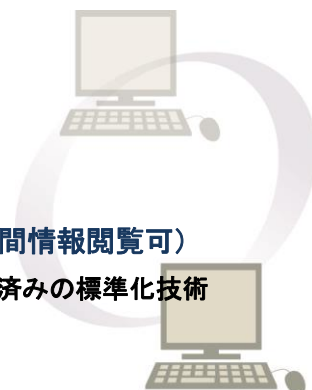
概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報(カルテ情報、画像、レポート等)の共有が可能になります。

(近畿大学医学部附属病院・堺病院)

情報提供施設(近大)は、「SS-MIX2標準ストレージ」にデータを出力し、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開(24時間情報閲覧可)

※SS-MIX2標準化(及び拡張)ストレージへのデータ出力は多くのベンダが対応済みの標準化技術(SS-MIX:厚生労働省電子的診療情報推進事業)



セキュリティについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間はIPSec-VAPを利用して高度なセキュリティが確保された通信網を使用。

情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療システムをご利用いただけます。

【パソコンの環境条件】

①Internet Explorer6.0～11.0が動作すること。

②OSのVPN設定を行うこと。

(VPN(Virtual Private Network)とは、インターネットに接続されている利用者間に、仮想的な通信トンネルを構築したプライベートなネットワーク。通信経路を認証や暗号化を用いて保護することにより、第三社が侵入することのできない、安全なネットワークです。)

③ウイルス対策の実施やWinnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。

情報参照していただけるもの

- 患者基本情報 ●病名 ●処方歴 ●検歴 ●各種オーダ情報 ●医師の記載
- 看護記録 ●サマリー ●経過表 ●画像情報 ●各種レポート

その他

・当院へ通院歴のある患者から同意(別添)をとっていただき、同意書を

近大の地域連携課までFAXしていただくと、すぐにその患者の情報を公開します。

・施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、

「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。

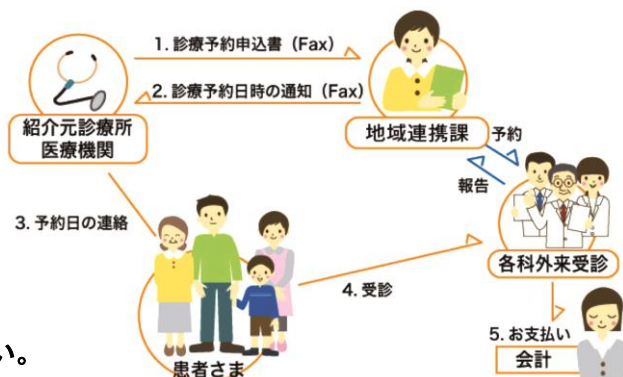
(診療情報提供料(I)を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ)

ご希望される医療機関は、地域連携課までお申し出ください。

紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願い致します。

- 1 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願い致します。
- 2 患者さまのご希望の日時で予約をとり、「診療予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
- 3 患者さまに予約日時等をご説明頂き、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



地域連携課 直通TEL:072-366-0257 FAX:072-365-7161

緊急患者紹介方法について

地域連携課

直ちに専門医療が必要な症例、
病院事務から専門医に電話回送

072-366-0257

救命救急センター (24時間体制)

重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、
その他の高度な救急医療

072-366-0250

脳卒中コール

脳卒中(発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、
急性頭痛を呈する軽症から重症の患者)、
くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

072-366-0920

ハートコール

狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、
大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

0120-145-810

周産期コール

産科救急(母体救急、胎児救急)、婦人科救急

072-366-0133

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さまで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請(相談)に応じ、
医師がドクターカーに同乗し、患者さまをお迎えにあげります。

ハートコール心臓血管センター

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221 (内線3138)



近畿大学 医学部・附属病院
KINDAI UNIVERSITY

KINDAI CARELINK vol.2 2018年3月
お問合せ先/地域連携課
(直通 072-366-0257)